

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

名刺交換した方や、突然思い出した方にもお届けしますので、ご迷惑であればお知らせください。

できれば勤務先でなく、個人のアドレスにお届けしたいので、ご連絡ください。

ご意見、ご質問大歓迎です。

.....

## 130 目次

1. ブログから：江東区×大田区
2. まつむら塾
3. 今後の予定：今週・来週以降
4. アクセスポイント：問い合わせ先
5. このメルマガについて

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

.....

## 1. ブログから：江東区×大田区

10月16日、中央防波堤埋立地の帰属をめぐり、40年にわたって対立してきた江東区と大田区に対し、東京都が「およそ503ヘクタールのうち、江東区におよそ86%、大田区におよそ14%帰属する」という調停原案を示したが、これに対し大田区が強く反発している。この埋立地には、オリンピックの競技施設建設が進んでおり、早期の解決が望まれているが、双方の区議会がこれを受入れなければ、訴訟に発展する可能性もあるという。この報道に対し、SNS上でも様々な意見が飛び交っている中で「調停に従わないのなら、なぜ調停申請したんだ！」という意見に僕は反応した。「たとえ自分に不利な結果でも、それに従う」という前提が無ければ調停など意味がないからだ。だが、このところこんな話ばかり聞かされているような気がしてならない。

例えば、「もりかけ問題」に関して「首相には説明責任がある」と詰め寄っているのに、安倍首相がいくら丁寧に説明しても「それでは納得できない」の一点張りでは話が進むはずがない。誤解しないでいただきたいが、僕だって安倍総理の説明ではまるで納得できない。だが、それならいつまでも「説明責任」などを求めずに、こちらの疑問を明確にし、それに対する答えを求めるべきではないだろうか。こちらが求めることが相手にとって不利ならば、そんな求めに応じる人がいるわけない。だが、安倍首相の丁寧な説明の繰り返しを国民は何度聞かされたことだろう。もういい加減にしろと言いたいのは、安倍首相を問いただす側に対してだ。返り討ちに会うのを恐れ、遠巻きにそしるのでなく、返り血を浴びるくらい間合いを詰めて、きちんと切りかかれと僕は言いたい。そう、今日の僕は「民主主義社会における戦いの在り方」について、少し意見を述べたい。

僕は民主主義のことを、「戦わない主義」とは思わない。多数決も選挙も戦いだ。仕掛ける方は、誰も負けや損を望んでない。改選前より与党の議席が増えるという人は一人もいないのに選挙をするのは、安倍首相にしてみれば、たとえ議席が減っても得なのだろうと僕は思う。調停とは、たとえ負けても責任を問われないための手続きだ。不利な調停案に不満を述べるのはかまわないが、それを蹴って裁判をするのは時間の無駄だ。これまでの40年だって、決して戦い続けた時間ではなく、単に決めない先送りを代々の区長が引き継いで来ただけだ。40年の人生を棒に振って冤罪を晴らすのとは訳が違う。もっと答えを出す努力をすべきだ。それをあえて「戦い」と今日は言う。

僕の提案は、今回の帰属問題を「江東区×大田区」で戦って決めること。双方の言い分が「100%じぶんのもの」というなら、それを賭けて戦うべきだと僕は思う。大田区長が「区民を代表するものとして承服できない」というのなら、区民を代表して江東区長に決闘を申し入れるべきだ。本当に区民がそう願っているのなら、区民同士で戦うべきだ。問題はその方法を真剣に考えること。「民主的」とはどういうことかがここで試されるだろう。例えば、剣や銃で殺し合うなどあり得ないし、軍備や核で脅し合うのもふさわしくないだろう。それでは住民投票の支持率を比べるのか、公開討論の後みんなの多数決で決めるのか。なんなら、みんなの綱引きで決めるのか、代表選手がリレーで決めてもいい。

こんな大事なことを綱引きで決めるなんてふざけるなど、お叱りを受けるかもしれないが、僕はまじめだ。僕が言いたいのは、もっと真剣になって「物事を決めるべき」ということだ。オリンピックという民間主催の単なるスポーツイベントに、数兆円というお金をかけても許されるのは、それが真剣勝負だからとしか僕には考えられない。真剣に考えた結果の調停なら、それに従うことができるはず。40年も決めずにいることを、すべての関係者の怠慢としてもっと恥ずべきではないか。そして決められないことを放置せず、すべての人に真摯に問いかけることが「民主主義」ではないかと僕は思う。

<http://nanoni.co.jp/20171021/>

.....

## 2. まつむら塾

### ■開催予定 講義+演習

笑恵館では毎週土曜日の午後、随時開催いたします。

・日程 10/28、11/4,11,18,25（毎週土曜日）12-21時 笑恵館・予約制

その他会場募集

- ・まつむら塾を開催させてくださる会場を募集しています。
- ・会場提供者は、受講料免除といたします。

### ■自習室 <http://nanoni.co.jp/juku/>

まつむら塾の講義内容を、自由に閲覧できるサイトです。

### ■個別メール・まつむら塾

まつむら塾の講義内容について、気軽に質問を受け付けます。

初回無料、月額3,000円～承ります。

.....

### 3. 今後の予定：今週・来週以降

凡例 ○面談歓迎：来て下さればあなたの面談を優先。

◎呼出歓迎：あなたのお誘いを優先、訪問可能。

●同行可能：僕の訪問先にお連れします。

★参加可能：あなたも参加可能なイベント。

.....

(月) 10/23 ○作業日 場所未定

(火) 10/24 ○作業日 場所未定

(水) 10/25 ○作業日 場所未定

(木) 10/26 ○作業日 終日笑恵館で面談可

17-19時 ★笑恵館クラブ運営会議

(金) 10/27 ○作業日 午後から笑恵館で面談可

(土) 10/28 ○作業日 終日笑恵館で面談可

12-21時 ★まつむら塾（笑恵館・予約制）

(日) 10/29 ○休業日

### ■その後のイベント

11/04 12-21時 ★まつむら塾（笑恵館・予約制）

11/09 15-17時 ★日本土地資源協会 経営会議

11/09 17-19時 ★笑恵館クラブ運営会議

11/10 19-21時 ★カプラー起業交流会(三茶)

11/11 12-21時 ★まつむら塾（笑恵館・予約制）

11/16 13-16時 ★笑恵館なるほどデイ

11/18 12-21時 ★まつむら塾（笑恵館・予約制）

11/23 17-19時 ★笑恵館クラブ運営会議

11/25 12-21時 ★まつむら塾（笑恵館・予約制）

11/26 10-15時 ★名栗の森オーナーシップクラブ 10月例会

12/01 19-21時 ★第24回 解決しゃべり会

相談のある人、一杯やりたい人、歓迎です。

松村の予定はこちらで公開しています。<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

### 4. アクセスポイント：問い合わせ先

松村拓也

メール [takuya@nanoni.co.jp](mailto:takuya@nanoni.co.jp)

携帯 090-9830-3669 [taku8823@ezweb.ne.jp](mailto:taku8823@ezweb.ne.jp)

自宅 株式会社 なのに(平社員)

〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘 3-15-1

<http://nanoni.co.jp/>

職 場 一般社団法人 日本土地資源協会(代表理事)

<http://land-resource.org/>

笑恵館 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19

<http://shokeikan.com/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://land-resource.us10.list-manage.com/subscribe?u=800df08672d8b31689226516d&id=df33ae0ce9>

フェイスブックグループはこちら

<https://www.facebook.com/groups/atamanonaka/>